第二次 字検村まち・ひと・しごと創生 総合戦略



令和2年3月

宇検村

目次

笋 1	咅	基本的な考	ラナ	
毎 I	早	至中凹る方	ヘハ	ı

	 趣旨・背景
第2章	基本目標・数値目標・具体的事業
	1. 基本目標
	 1-1. 基本目標①「"うけん"に定住できるしごとづくり」 (1)数値目標 (2)具体的事業・重要業績評価指標(KPI) ◆観光立村推進プロジェクト ◆(株)元気の出る公社多機能化プロジェクト ◆地域産業振興プロジェクト
	 1-2. 基本目標②「人を呼び込む"うけん"づくり」
	 1-3. 基本目標③「"うけん"の次世代を担うひとづくり」20 (1)数値目標 (2)具体的事業・重要業績評価指標(KPI) ◆子育て支援プロジェクト ◆出産促進プロジェクト
	 1-4. 基本目標④「結いのこころでつながる"うけん"づくり」22 (1) 数値目標 (2) 具体的事業・重要業績評価指標(KPI) ◆"結いの村づくり"プロジェクト ◆生活環境向上プロジェクト

第1章 基本的な考え方

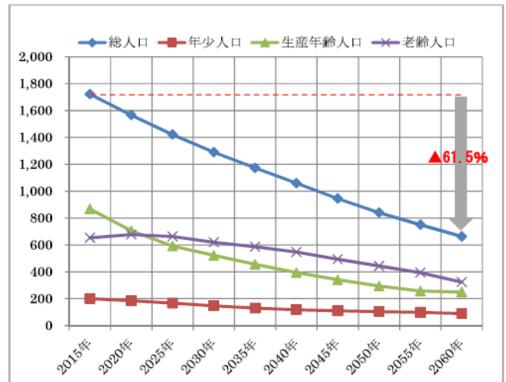
1. 趣旨•背景

「宇検村まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「宇検村総合戦略」)」は、国が策定し た「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方や政策5原則等を基に、奄美大 島5市町村で策定した「奄美大島人口ビジョン」を踏まえ、基本的な考え方や基本目標、 具体的な事業をまとめ、宇検村における人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・し ごとの創生と好循環の確立を目指すものです。

本村の昭和55年(1980年)以降の総人口の推移は、「奄美大島人口ビジョン2020」 で示したとおり、この 30 年間一貫して減少傾向にあり、令和 42 年(2060 年)には、 663 人と推計されています。また人口構造についても、令和 7 年(2025 年)頃には老年 人口(65 歳以上)と生産年齢人口(15~64 歳)が逆転することが予想されています。

このような中、本村の人口減少および少子高齢化の進行に歯止めをかけるため、雇用拡 大・産業振興・観光振興・生活環境の充実等により定住と交流促進につながる多様な取組 を、近隣4市町村とも広域的に連携しながら、地域力を結集して進めていきます。

【宇検村の総人口と年齢3区分別人口の推移】



(出展:国立社会保障・人口問題研究所)

2. 将来人口目標

第一期「宇検村まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、平成 22 年(2010年)の総人口 1,932 人の約8割である 1,500 人に設定していました。実際には、令和元年(2019年)時点で 1,600 人近くまで落ち込み、国立社会保障・人口問題研究所によれば、令和 42 年(2060年)時点までに何もしなければ 663 人まで減少すると予測されており、大変厳しい状況下におかれています。

この窮地を脱すべく、宇検村では国の総合戦略・奄美大島総合戦略の内容を踏まえつつ、宇検村らしさを見出しながらさまざまな具体策に取り組み、令和 42 年の人口を、平成 27 年の総人口 1.722 人の約8割である 1.400 人まで引き上げます。

【宇検村の将来人口目標】

2015年 1,722人 何もしない まま 2060 年 663 人

字検補まちっひと。しごと創生総合職略

2015年 1.722人 約8割程度維持

2060年1,400人

【合計特殊出生率及び転出抑制・目標転入のめやす】

○ 合計特殊出生率の向上: 1,69 ⇒ 2,30

○ 地元雇用の創出による転出抑制 : 毎年15名○ 移住促進による目標転入 : 毎年10人

[内訳] · 家族(2~4人世帯)移住 ··· 2組/年

チャレンジ世代(20~44歳) … 3名/年

※チャレンジ世代…奄美成長戦略ビジョン定義による

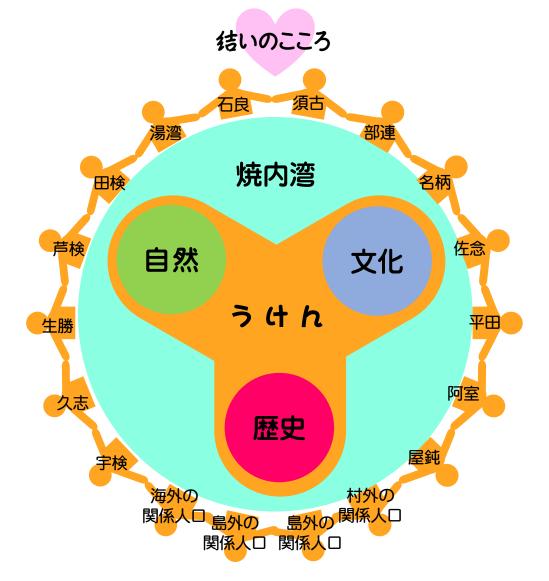
3. 「背伸びはやめた。宇検村人になろう。」

国が示す第二次総合戦略の新たな視点の一つに、将来的な地方移住にもつながる「関係人口の創出」があります。総務省の定義によると、関係人口とは、移住した「移住人口」や、観光に来た「交流人口」とも異なり、地域や地域の人々と多様に関わる人々のことを指します。

宇検村に限らず、地方圏は人口減少・高齢化により地域づくりの担い手不足という課題に直面しています。しかし、地域によっては、若者を中心に変化を生み出す人材が地域に入り始めており、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されています。

特に宇検村は、関係人口を創出するにあたって、新たに宇検村に呼び込むことよりも、かつて宇検村に住んでいた人たちや、その二世・三世にあたる人たちとの関係を築き上げ、人口増加へつなげられるような取り組みを進めていきます。

無理に新しいことを始めず、宇検村にもとからある人や伝統などを活用することで「背伸び(たーしゃ)」をやめ、住むことで人としての生き方を思い出せるような「宇検村人(ひと)」になれる。そんな"うけん"づくりを、本戦略では目指していきます。



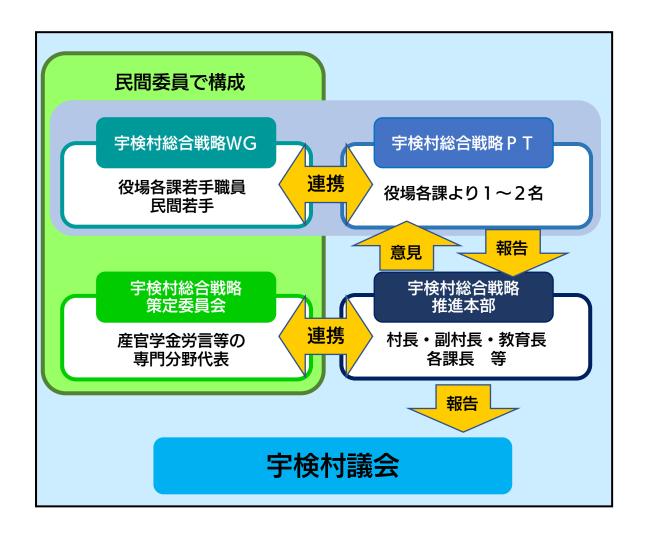
4. 計画期間

計画の実施期間は、令和2年度から令和6年度までの5か年の計画とします。

5. 推進体制

地方創生に関する取組を全村的に推進するために、「宇検村総合戦略推進本部」、「宇検村プロジェクトチーム(以下「PT」)」、「宇検村総合戦略ワーキンググループ(以下「WG」)」を設置し、総合戦略の策定・推進を行っていきます。また、民間委員で構成する「宇検村総合戦略策定委員会」で、数値目標や重要業績評価指標(KPI)の効果検証等を行い、必要な見直しを行うことができる推進体制を構築します。

【宇検村総合戦略推進体制】



6. 客観的な効果検証の実施

本計画の実施にあたっては、後述の「第2章 基本目標・数値目標・具体的事業」で設定する数値目標や重要業績評価指標(KPI)を基に、実施する事業の効果検証等を「宇検村総合戦略策定委員会」にて行います。そして、同委員会からの提言のほか、社会経済情勢や村民のニーズに的確かつ柔軟に対応できるよう、必要に応じて総合戦略を改定するなど、一連のプロセスをPDCAサイクル(※1)で実行していきます。

【PDCAサイクルのイメージ】



【参考】国がこれまでに示した総合戦略に対する考え方

■まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

地方創生は「ひと」が中心であり、長期的には、地方で「ひと」をつくり、その「ひと」が「しごと」をつくり、「まち」をつくるという流れを確かなものにしていく必要がある。

- ・将来に向けて安定的な「雇用の量」の確保・拡大を実現する「しごとの創生」
- ・地方への移住・定着を促進するための仕組みを整備するとともに、結婚から妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を実現する「ひとの創生」
- •「しごと」「ひと」の好循環を支えるために、人々が地方での生活やライフスタイルの素晴らしさを実感し、安心して暮らせる「まちの創生」
- ■まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則
 - (1) 自立性

各施策が一過性にとどまらず、構造的な問題に対処し、地方公共団体・民間 事業者・個人等の自立につながるようにする。

(2) 将来性

地方が自立的かつ主体的に、前向きに取り組むことを支援する施策に重点を置く。

(3) 地域性

各地域の実態に合った施策を支援することとし、各地域は客観的データに基づき実状分析や将来予測を行い、「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」を 策定するとともに、同戦略に沿った施策を実施できる枠組みを整備する。

(4)直接性

限られた財源や時間の中で、最大限の成果を上げるため、ひとの移転・しごとの創出やまちづくりを直接的に支援する施策を集中的に実施する。地方公共団体に限らず、産官学金労言の連携を促すことにより、政策の効果をより高める工夫を行う。

(5) 結果重視

明確なPDCAメカニズムの下に短期・中期の具体的な数値目標を設定し、 政策効果を客観的な指標により検証し、必要な改善等を行う。

- ■数値目標・重要業績評価指標(KPI)
 - (1) 基本目標における数値目標
 - ・政策分野ごとに5年後の基本目標を設定
 - ※行政活動そのものの結果(アウトプット)ではなく、その結果として住民 にもたらされる便益(アウトカム)に関する数値目標を設定
 - (2) 各施策における重要業績評価指標(KPI)
 - Key Performance Indicator の略称
 - ・施策(事業)ごとの進捗状況を検証するために設定する指標をいう
 - ・原則として当該施策アウトカムに関する指標を設定

第2章 基本目標・数値目標・具体的事業

1. 基本目標

国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、人口減少の克服と地方創生を確実に実現するため、5原則(自立性・将来性・地域性・直接性・結果重視)に基づきつつ、関連する施策を展開することとしており、以下の4つの「基本目標」を設定し、地方における様々な政策による効果を集約し、人口減少への歯止め、「東京一極集中」の是正を着実に進めていくこととしています。

【国の基本目標】

基本目標① 地方における安定した雇用を創出する

基本目標② 地方への新しいひとの流れをつくる

基本目標③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地

域を連携する

本村においては、国の「基本目標」に対応する形で、以下の4つの基本目標を設定します。また基本目標の実現に向けて、目標ごとに数値目標を設定するとともに、具体的事業についても重要業績評価指標(KPI)を設定して取組を進めていきます。

基本目標①

"うけん"に定住できるしごとづくり

基本目標②

人を呼び込む"うけん"づくり

基本目標③

"うけん"の次世代を担うひとづくり

基本目標(4)

結いのこころでつながる"うけん"づくり

1-1. 基本目標①

"うけん"に定住できる しごとづくり

本村の将来人口目標を達成するためには、安定した地元雇用が不可欠となります。農林業・水産業・観光業・商工業などの地元産業の底上げ、観光立村推進による関連事業での新規雇用創出を図ります。

(1)数值目標

数値目標	基準値(現状)	目標値(R6)
就業者数	550人 (R1)	665人
事業所数	88事業所 (R1)	102事業所

(2) 具体的事業·重要業績評価指標(KPI)

◆宇検村観光立村推進プロジェクト

事業名	KPI	基準値	目標値
①公共交通ネットワーク 再構築事業②グリーンスロー モビリティ事業③宇検村観光拠点 施設事業	- 雇用者数 うけん市場の - 年間利用者数	3人(R1) 3.7万人(R1)	1 0人 (R6) 5万人/年
④新規観光業 起業者支援事業	観光業起業数	_	3社

【事業概要】

① 公共交通ネットワーク再構築事業

本村においては各校区のコミュニティー形成が進んでおり、地域の公共交通ネットワークの再構築を行う。また、コミュニティーバスやデマンド交通による移動手段の維持と確保と効率化の検証等も行う。

② グリーンスローモビリティ事業

村内主要施設を巡回するグリーンスローモビリティを導入し、観光客に対する交通の 利便性を図る。同時に、高齢者の移動手段としての活用も図り、積極的な外出やコミュ ニケーションの活性化も促進する。

③ 宇検村観光拠点施設事業

情報提供、観光案内、アクティビティ用品の貸し出し、小規模イベント会場、村民と来訪者の交流の場としての機能を兼ね備えた施設を設立し、より多くの観光客の呼び込みや、行動範囲の拡大を図る。また、施設の運営による新たな雇用も見込まれ、村内の観光業への機運が高まり、観光業の新たな創出も期待される。

④ 新規観光業起業者支援事業

県内外の観光客をもてなす新たな取組や特産品開発・加工販売を実施する起業家 及び小さな拠点づくりに積極的に参画する起業家に対し支援を行う。

また、村内に少ない女性の起業家を育成することにより、きめ細かいサービスを 行える女性の社会進出を支援し、新たな雇用の創出を図る。

◆ (株) 宇検村元気の出る公社多機能化プロジェクト

事業名	KPI	基準値	目標値
①宇検村農業活性化 事業	(株) 宇検村元気の 出る公社雇用者数	4人 (R1)	10人 (R6)
②海岸漂着物等地域 対策事業	雇用者数	3人 (R1)	4人 (R6)
③村内道路環境整備 事業	雇用者数	6人 (R1)	10人 (R6)

【事業概要】

① 宇検村農業活性化事業

農作業の受託拡大による遊休農地の有効活用、村独自の助成制度による新規就農者の 定着により、村内における農業の活性化を図る。

また、(株) 宇検村元気の出る公社の自社農場の運営や、村営農場の稼働を実施することにより、機動力のあるモデル事業として示す。

② 海岸漂着物等地域対策事業

海岸線の景観と安全を守るため、漂着ゴミの回収や村内の啓発活動を行う清掃作業員を雇用する。

③ 村内道路環境整備事業

村内の道路の景観と安全守るため、山林等から道路にはみ出している草木や倒木の危険性がある樹木の伐採等を行う作業員の雇用を行い、作業の更なる効率化および安全な実施を図る。

◆地域産業振興プロジェクト

事業名	KPI	基準値	目標値
①学童保育施設 設置事業	雇用者数 ※令和 3 年度 より実施	_	5人 (R6)
②プレミアム付 商品券事業	村外消費者の 消費額	20 百万円 (H27-R1 総額)	3 5 百万円 (R2-R6 総額)

【事業概要】

① 学童保育施設設置事業

学童保育施設を住民のニーズに適切に合わせ、子ども子育て支援計画等に準じて推進し、村内の子どもたちが放課後を安心安全に過ごすことができ、異年齢との交流による 多種多様な体験活動を行うことができる総合的な放課後対策を行う。

- ・放課後のサポート学習(宿題など)
- ・高齢者および地域の方との交流(昔遊び・島唄・島口・三味線等)
- ・食事改善グループとの連携(虫歯予防・健脳食・食事マナー)
- ・地域行事等の練習の場

また、地域(集落)の指導員を学童保育の指導員に雇用することで、村内での雇用 創出を図るとともに地域(集落)の教育力を高める。

本事業により、若い子育て世代が安心して働きやすい環境を整備することで、「安心して子育てができる村」をアピールし、出生率の向上、移住・定住の増加を図る。

② プレミアム付商品券事業

プレミアム10%以上の商品券(プレミアム分は村が補助)を発行し、村内商工業者からの購買額を増やし、村内経済の循環を促す。

また、うけん市場をはじめとする村内各事業所において商品券を取り扱い、村外からの顧客へ積極的に販売し、村外者の消費額の増加を図る。

1-2. 基本目標②

人を呼び込む "うけん"づくり

新しい人の流れをつくるためには、観光面の強化や移住・ 定住の定着化を図る必要があります。島内広域連携による取 組の他、自然や文化など村独自の特色を活かした事業を実施 することにより、定住・交流人口の増加を図ります。

(1)数值目標

数値目標	基準値(現状)	目標値(R6)
社会増減数 (転入数 — 転出数)	1 0人 (R1/107 — 97)	20人/年
延べ宿泊者数	6,733人(R1)	8,000人/年

(2) 具体的事業·重要業績評価指標(KPI)

◆"うけん"観光振興プロジェクト

事業名	KPI	基準値	目標値
①村内伝統行事観光 イベント化事業	イベント化行事数	_	1 4 行事
②宇検村観光ガイド 育成事業	ガイドの人数	8人 (R1)	1 4人 (R6)
③観光施設等整備事業 ・峰田山公園 ・湯湾岳展望台公園 ・屋鈍―西古見線	入込客数	82,300人 (H30)	90,000人 <i>/</i> 年
④リュウキュウアユを 活用した観光地域づく り団体育成事業 (広域連携)	リュウキュウアユの 個体数	315匹 (R1)	1,000匹 (R6)
⑤無料 Wi-Fi の設置	Wi-Fi 施設整備	3ヵ所 (R1)	15ヵ所 (R6)
⑥里歩きマップパンフレット・マップ看板設置事業	パンフレット種類 マップ看板設置数	2 種類(R1) —	1 4種類(R6) 1 4基(R6)
⑦合宿増加推進事業	年間合宿団体数 (教育委員会)	3団体(R1)	10団体/年

事業名	KPI	基準値	目標値
⑧宮城県七ヶ宿町との 交流事業	交流人口	18人 (R1)	30人 (R6)
⑨奄美大島満喫ツアー助成事業	満喫ツアー利用者 延べ人数	859人 (R1)	1,200人 (R6)
⑩あまみシマ博覧会 体験プログラム 登録推進事業	シマ博登録 プログラム数	3 プログラム (R1)	15プログラム (R6)
⑪宇検村観光拠点施設 事業(再掲)	年間利用者数	_	5万人/年

【事業概要】

① 村内伝統行事観光イベント化事業

豊年祭や八月踊りなどといった、現在宇検村内各地で行われている伝統行事を観光イベント化し、観光客の集客を図る。また、集落ごとに種類が異なる観光グッズの開発を行い、コレクターをターゲットとしたグッズの開発も行う。

② 村の観光ガイド育成事業

宇検村で営業している観光ガイドと、商工会や地元企業と連携した着地型観光の商品化を行う。

また、生涯学習講座の「うけん地元学」等における受講者を集落案内ガイドとして育成し、宇検村観光物産協会を総合案内窓口とした観光ガイド業での雇用を創出する。 併せて、今後増加が予想される外国人観光客の為に通訳兼ガイドの育成を行う。

③ 観光施設等整備事業

峰田山公園、湯湾岳展望台公園、屋鈍西古見線(西回りルート)等を整備し、観光拠点施設、うけん市場、黒糖焼酎工場、やけうちの宿(コテージ・レストラン)への導線を確立し、世界自然遺産登録を見据えた観光客の受け入れ態勢を強化する。

④ リュウキュウアユを活用した観光地域づくり団体育成事業(広域連携)

絶滅危惧種であるリュウキュウアユを保護するため、河内川に生息する水性移入生物 (鯉・カメ等)の駆除を行う。

外来生物駆除対策を実施することにより、自然環境や世界自然遺産登録へ向けての取組について、住民への意識啓発を行う。

また、奄美にしか生息しないリュウキュウアユの養殖を行い、地元レストランでのアユ料理提供や土産物として利用することにより、観光客増加を図る。

⑤ 無料 Wi-Fi の設置

村内の主要観光スポットおよび各集落拠点施設等に無料 Wi-Fi を設置し、観光客の SNS (Twitter、Facebook、Instagram 等) への発信を促すとともに、SNS 発信に伴うさらなる観光客の呼び込みを図る。

令和2年3月時点で3か所(宇検村役場、元気の出る館、うけん市場)に設置されており、これを各集落の観光拠点施設等へと設置拡大する。

⑥ 里歩きマップ・パンフレット・看板設置・整備事業

各集落の里歩きマップをパンフレットとして発行し、主要観光施設や集落拠点施設および商店に設置・配布を行い、観光客の集落巡りを促進する。

併せて、同マップの看板を作製・設置し、観光客の集落への関心をさらに深めるよう 図る。

⑦ 合宿増加推進事業

本村には、これまで多くの学生がスポーツ合宿で訪れており、近年では合唱などの文 科系の合宿も行われている。

今後も、民間企業と協力しながら、継続して島内外の合宿を呼び込み、交流人口や関係人口、および宿泊者の増加を図る。

⑧ 宮城県七ヶ宿町との交流事業

小学6年生を対象に冬季七ヶ宿町へ本村の児童を派遣、夏季は七ヶ宿の児童が本村へ 来て交流研修を実施している。また、両町村の議員同士の交流や、宇検村での七ヶ宿町 物産品の販売および事業者との交流など、近年は交流の幅を広げている。

今後も交流を継続しつつ、より良い交流の形を見出し、交流人口と物産品の販売拡大 および関係人口の創出を図る。

9 奄美大島満喫ツアー助成事業(広域連携)

奄美大島満喫ツアー実行委員会(奄美大島 5 市町村で設置)が実施するツアーへ助成し、観光客の増加を図る。

(※助成対象…バス助成、商品造成、イベントコンベンション、チャーター助成、学生スポーツ合宿、国内修学旅行)

⑩ あまみシマ博覧会プログラム登録推進事業

ぐーんと奄美(一般社団法人 奄美群島観光物産協会)が主催している「あまみシマ博覧会」には、奄美群島各地の体験型観光プログラムが登録されており、空港や航空機内等でパンフレットにまとめられて周知されている。

本村からも、「あまみシマ博覧会」への体験型観光プログラムの登録を促進し、村内への観光誘致を図る。

① 宇検村観光拠点施設事業【再掲】

◆移住・定住推進プロジェクト

事業名	KPI	基準値	目標値
①宇検村未来の担い手 育成事業	実施回数	_	3回/年
②地域おこし協力隊の 活用	協力隊員の人数	3人	5人
③親子山村留学事業の 拡充	親子山村留学による 移住世帯数	0 世帯 (H27-R1)	2世帯/年
④宇検村移住・交流 推進事業	出会い交流イベント 年間実施回数	_	1回/年
⑤個人事業者等移住 支援事業	個人事業者の 移住業社数		3社

【事業概要】

① 宇検村未来の担い手育成事業

村内の小中学校で、「将来帰ってきたくなる宇検村」について子どもたちが話し合える環境を作り、その意見の実現を図る。

【関係団体】宇検村教育委員会、宇検村内各小中学校(小学校高学年以上対象)

② 地域おこし協力隊の活用

本村の地域おこしに意欲のある都市部の人材を呼び込み、その定住・定着を図ることで村内各集落の維持・強化につなげる。

また、隊員の定住を促すために、村独自の支援助成等も制定する。

③ 親子山村留学事業の拡充

2 校区で実施している親子山村留学を現在2 校区で実施している親子山村留学を他校区へ拡大し、本村への移住を推進する。併せて、村内の就業先の開拓、公営住宅の建設や小規模住宅改修などによる住宅の確保、空き家情報の収集等、一元的な管理及び情報の発信を行う。

※H27年以前から山村で居住している世帯あり。その後、子どもが H27 以降に高校生となって通学しているため、H27~R1までの移住世帯なし。

④ 宇検村移住・交流推進事業

宇検村内で若者の結婚を支援するイベントを実施し、移住希望者や若者の結婚の希望を叶えるとともに、交流人口を増やす。また、村外からのイベント参加者を募ることで、宇検村の魅力を PR し、関係人口の創出を図る。

⑤ 個人事業者等移住支援事業

フリーランスやワーケーションなど、仕事を持ったままの移住者が働きやすくなるよう、Wi-Fi の整備などの環境づくりによる助成を行う。

また、小規模・個人事業としての起業を考えている移住者の助成を行い、新規事業者の移住増と事業者による経済活性化を図る。

1-3. 基本目標③

"うけん"の 次世代を担う ひとづくり 本村の次代を担う若い世代の増加は、村に活気を与え、更なる飛躍と発展の原動力となります。結婚・出産・子育ての切れ目ない支援により、子どもを生み育てる環境の充実を図ります。

(1)数值目標

数値目標	基準値(現状)	目標値(R6)
子育て環境の満足度	_	80%
合計特殊出生率	1.69 (R1)	2.30

(2) 具体的な事業・重要業績評価指数(KPI)

◆子育て支援プロジェクト

事業名	KPI	基準値	目標値
①入学祝い金等の助成 拡充 ②島内高校通学者への バス定期券補助の 継続	子育て世帯の 転入世帯数 (転勤を除く)	1 1 世帯 (H30)	15世帯/年
③学童保育施設 設置事業(再掲)	利用者数	_	20人/年

【事業概要】

① 入学祝い金等の助成拡充

子どもの健やかな成長のための現行の経済助成の見直し・拡充を行う。

② 島内高校通学者へのバス定期券補助の継続

本村出身の高校生は、多くが村外へ移住(寮・下宿)する傾向にある。島内高校への 通学用定期券の全額補助を継続することで、村内から高校への通学をしやすくし、本村 への定住促進を図る。

また、高校生活を村内で過ごすことにより、青年団活動等を通じて学生に本村の魅力をより知ってもらい、高校・大学卒業後、本村への U ターンを図る。

③ 学童保育施設設置事業【再掲】

◆結婚・出産促進プロジェクト

事業名	KPI	基準値	目標値
①地域不妊治療支援 事業	利用者数	1人 (R1)	3人/年
②宇検村移住・交流 推進事業(再掲)	出会い交流 イベントによる 婚姻組数		3組 (R2-R6)
③学童保育施設 設置事業(再掲)	利用者数	_	20人

【事業概要】

① 地域不妊治療支援事業

不妊治療のために島外の病院へ出る方の旅費を助成し、村内での出産への希望を繋ぎ止められるようにする。

- ② 宇検村移住・交流推進事業【再掲】
- ③ 学童保育施設設置事業【再掲】

1-4. 基本目標④

結いのこころで つながる "うけん"づくり 本村内には14の集落が点在し、少子高齢化が進んでおり、各集落の存続が困難になってきています。住宅や集落の拠点等整備や機能集約を図り、各世代が住み慣れた地域で安心して暮らせるような生活環境の創出・再構築を図ります。

(1)数值目標

数値目標	基準値(現状)	目標値
村民の平均幸福度 (村民アンケートにより調査)	7.3点 (R1)	平均7.5点 (R6)

(2) 具体的事業·重要業績評価指数(KPI)

◆ "結いのむらづくり" プロジェクト

事業名	KPI	基準値	目標値
①地域力強化推進事業	開催集落	6集落(R1)	全 14 集落
	住民の支え愛の意識	—	70%
②多機関の共働による 包括的支援体制 構築事業	会議開催回数 連携団体数	0 🗆	3回/年 10団体(R6)
③ " わん " チーム	年間プロジェクト	_	1プロジェクト/年
プロジェクト事業	関係団体数	_	

【事業概要】

① 地域力強化推進事業

各集落で日常的に行われている支え愛活動や、地域の活動を可視化し、住民自身が振り返る機会を設けることで、住民同士が身近な地域課題を解決する基盤を醸成する。また、これらの地域課題を解決する際の行政や社会福祉法人、その他村内機関の体制も検討する。

【関係団体】住民、民生委員、地域の見守りボランティア、宇検村社会福祉協議会、 宇検村役場、その他関係機関

② 多機関の共働による包括的支援体制構築事業

村内の保健・医療・福祉を担う事業所のネットワークを強化し、『断らない相談支援』を実現するための体制を構築する。体制構築のためのツールとして ICT 等の技術を活用し、少数の人材が効率よく動くことのできる体制を整える。また、村内に確保できていない専門機関へつなぐことができる仕組みを強化する。

【関係団体】宇検診療所、宇検村診療所歯科、宇検薬局、宇検村社会福祉協議会、 虹の園、滝の園、宇検村役場、大島郡医師会 他

③ "わん"チームプロジェクト事業

官民共同で連携を図り、村の活性化・課題解決につながるプロジェクトを実行する。 このプロジェクトの実行を通して、地域づくりにつながる人材養成や連携の強化を図っ ていく。

村民が提案する自分のやりたいこと(一人称としての島口「わん」)に対して、行政や集落とともに課題解決のためのアプローチ(「チーム一体」という意味を込めた英単語の「ONEI)をしていくことを「"わん"チーム」という言葉に込めている。

【関係団体】宇検村役場、住民、その他プロジェクト内容に関係する機関

◆生活環境向上プロジェクト

事業名	KPI	基準値	目標値
①食の自立支援事業	利用者数	_	10人 (R6)
②廃屋撤去事業	撤去軒数	_	1 0軒 (R6)
③ノラ猫のTNR活動 実施(広域連携)	ノラ猫 TNR の 実施率	— (R1 算出中)	9 5 % (R6)
④グリーンスローモビリティ事業(再掲)	年間利用者数	_	2,000人/年

【事業概要】

① 食の自立支援事業

村内で生産されている農産物を利用して、栄養管理等を行い、各集落に在住している要介護・要支援高齢者を対象とした「宅食」事業を行うとともに、地域の「見守り」機能の役割を担う。

【関係団体】栄養士、食生活研究グループ、農産物の生産者、福祉医療関係者 (業種を越えた支援構成団体を育成、次代を担う人々が参加しやすい環境を醸成する)

② 廃屋撤去事業

廃屋除却条例を制定し、台風被害が多い村内で放置されている廃屋をスムーズに撤去し、安全で安心して住むことのできる環境づくりを進める。また、廃屋撤去により空いた土地の新たな活用の可能性を広げ、より住みやすい"うけん"づくりを進める。

③ ノラ猫の TNR 活動実施(広域連携)

ノラ猫の TNR 活動を実施し、ノラ猫個体数の自然減少を図る。これにより、村内に 生息する希少種の保全、及びその他ノラ猫被害の抑止につなげる。

※TNR…Trap(捕獲)・Neuter(不妊・去勢手術)・Return(元の場所に戻す)

④ グリーンスローモビリティ事業【再掲】

交通弱者でも、診療所や商店、生涯学習センター、役場などを巡回できるような交通機関として、グリーンスローモビリティを運用することで、高齢者の積極的な外出やコミュニケーションを促す。



『学様特イメージキャラクター』